

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

尾張の夏、天王祭 児行列



昨年12月に「尾張津島天王祭の車楽舟行事」は、日本全国33件の「山・鉦・屋台行事」の一つとしてユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。この「山・鉦・屋台行事」の内、水上で開催される祭は、尾張津島天王祭と愛知県蟹江町の須成祭の2件であり、愛西市・津島市という2市にまたがる祭というのは全国唯一で異例です。

2市にまたがる理由は市江車の存在です。当地は海拔ゼロメートル地帯であり、明治時代中頃まで大河が網の目のように流れ、現在の津島市本町付近に津島がありました。津島神社は津島の対岸に位置する向島にあり、愛西市南西部に市江島がありました。市江車は、明治時代中頃に佐屋川が廃川となるまで、市江島から津島まで佐屋・天王川を遡って、尾張津島天王祭に登場していました(現在の市江車関係者は愛西市佐屋町から津島市の天王川公園までバスで移動しています。また、尾張津島天王祭では、舟であっても車と呼びます。)。現在でも市江車行事は、尾張津島天王祭の2週間前から愛西市東保町などで開催されています。

そして、尾張津島天王祭の頃は、愛西市西部に広がる蓮田に花が咲く最も美しい季節でもあります。愛西市森川町の森川花はす田で、愛西市観光協会が主催する「蓮見の会」が開催される7月8日・9日には、愛西市東保町で斎竹立て・置物定めなど市江車の準備行事が開催されています。蓮の花を愛でるついでに、祭準備の状況も見学されることをおすすめします。7月22日(土)宵祭当日の午後4時頃に、愛西市西保町の星大明社で試楽、周辺で児(ちご)行列が実施されます。(写真：2016年の宵祭で車屋さん宅を出立する市江車の児 関連地図：2頁参照)

蓮見の会



7月8日(土)・9日(日)、愛西市森川町の森川花はす田において、「蓮見の会」が開催されます。愛西市観光協会が主催する事業となって2年目を迎え、会場になっている花蓮田の整備にも力が注がれており、例年以上に美しい花を愛でることができると思います。今年は、昨年 和歌山県御坊市からいただいた美しい品種“舞妃蓮”(右写真)を育成している蓮田が新しく整備されています。ただし、生物なので生育度合が不明であり、花が咲くか多少心配しています。が、会期内の開花を期待しましょう。

両日は、名鉄佐屋駅から無料シャトルバスも運行され、記念式典、野点、物産販売など各種催事が予定されています。特に今年は、ご来場された方に先着記念品として涼しげな蓮の葉が描かれた“うちわ”が無料配布されます。また、愛西市観光協会が実施している「出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテスト」など良いシャッターチャンスになると思います。蓮は、桜と違って一斉には咲きません。花の命は4日間で、朝方に花卉が開き夕方には閉じます。このため、毎日毎日一刻一刻、主役の花が変わりますので、周囲を取り込んだ風景を切り取り一期一会の作品とする楽しみがあります。

ちなみに、愛西市は東海地方最大級の食用蓮根 生産地、切り花用花蓮 生産地で、市の西部地域には広い範囲に一面の蓮根田があり、こちらも花期です。6月下旬から8月初旬まで、その美しい風景を楽しめます。



愛知県観光協会 表彰



6月7日(水)、名古屋市の名鉄グランドホテルに於いて、愛知県観光協会・平成29年度定期総会が開催され、総会の席上、「あいさいボランティアガイドの会」の活動が愛知県の観光事業推進に寄与していると評価いただき、荻野会長が他2団体と共に表彰されました。感謝状と一緒にいただいた記念品は、ちょうど購入を検討していた案内用ハンズフリーマイクでした。早速当会の活動で使わせていただいています。

愛西ワンダーワンド（湾処）探検会

海拔ゼロメートル地帯が広がる愛西市の西側を流れる木曾川には、不思議な風景が広がっています。その“ワンダーワンド”探検会を5月26日（金）に実施しました。



この日は新月であり、夏季に最も潮が引く日と予想されていましたが、前日から不安定な天気となり、木曾川河川敷にある風景を見学できるか心配していました。しかし、探検会を開始した午後1時頃には奇跡的に晴れ渡り、また、降雨の影響もほとんど無く、干潮に伴って木曾川水位が下がり、美しい湾処（ワンド）や河川敷の風景が広がりました。鳥たちのさえずりの中、蟹が多数生息するケレップ水製の石垣を通り、木曾川を横断するように残る江戸時代の堤防跡など、その不思議な空間を楽しむことができ、特に、熱帯のマングローブ林のような湾処の風景（写真）には、参加されたみなさんが「愛西市にあるとは思えない絶景」「存在は知っていたが、その姿に驚いた」などと絶賛されていました。愛西市の観光資源として有望と思われるので、探検会を再企画したいと考えております。また、関連して下記講演会を予定したいと思っております。

日時：7月16日（日）14時～

場所：愛西市中央図書館

演題：あいさい講座『愛西ワンダーワンド・尾張津島天王祭と幻の堤防』

なお、実施した探検の様子は、6月9日（金）の毎日新聞あいち版、クローバーテレビのデイリートピックス、愛西市の広報『あいさい7月号』でも紹介されました。

佐屋街道の佐屋宿を歩く

5月21日（日）午後、愛西市中央図書館が主催した愛西市歴史・文化講座「市内名所旧跡まち歩き」が実施され、約50の方が参加され、あいさいボランティアガイドの会が佐屋宿場町周辺の約4kmを案内しました。

この日は、季節外れの猛暑の日となり、熱中症の発生が危惧されましたが、愛西市中央図書館職員が休憩地で用意したお茶のサービスも好評で、初回講座として盛況な事業となりました。



愛西市観光協会・ボランティアガイドの会 総会開催

5月25日（木）、愛西市佐織公民館において、午後1時半から愛西市観光協会総会、午後3時からあいさいボランティアガイドの会総会が開催され、それぞれ、提案通り議事が承認されました。観光協会総会の最後には、尾張津島天王祭がユネスコの世界無形文化遺産に登録されたことを記念して『名古屋市民から見た尾張津島天王祭』と題した、愛西市教育委員会の高橋氏による基調講演がありました。

～ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ～

- 7月 8日(土)・9日(日) **蓮見の会** (於:愛西市森川町・森川花はす田)
8日(土)・9日(日) 尾張津島天王祭 市江車置物定など (於:愛西市東保町)
8日(土) 歴史講演会 (於:愛西市中央図書館)
15日(土)・16日(日) 尾張津島天王祭 市江車花付など (於:愛西市東保町)
16日(日) あいさい講座 (於:愛西市中央図書館)
21日(金) 尾張津島天王祭 稚児打ち廻しなど (於:津島神社、東保町など)
22日(土) **尾張津島天王祭 試楽、児行列など** (於:西保町 星大明社)
尾張津島天王祭 宵祭 (於:津島市 天王川公園)
23日(日) 尾張津島天王祭 朝祭 (於:津島市 津島神社周辺)
27日(木)～30日(日) 一宮七夕まつり
(於:一宮市真清田神社周辺、29日(土) あいさいさん出演)
30日(日) 船頭平閘門舟遊び (於:愛西市 船頭平閘門)
30日(日) 勝幡地区納涼夏祭 (於:愛西市 勝幡駅前広場他)
31日(月)・1日(火) 神葎祭 (津島神社神事 於:津島市 天王川公園)
8月 3日(木) 水生生物による水質調査 <雨天時は10日(木)に変更>
(於:馬飼大橋下の木曾川河川敷 (羽島市) 主催:木曾川下流河川事務所)
6日(日) 愛西市納涼まつり (佐屋会場、佐織会場)
6日(日)・11日(金・祝)・20日(日) 漁業体験
(於:愛西市 葛木町・三和町周辺の木曾川 主催:愛西市観光協会)

V G 7月定例会の予定

集合時間:7月16日(日)9時～ 集合場所:愛西市中央図書館
内 容:5月図書館事業の反省会、2017年度の事業について

◇6月定例会(6月18日(日)8時～12時、於:佐織公民館、20人出席)議事録

1)北河田学区の名所・旧跡見学(8時～10時、19人参加)

根高町の釜地蔵寺、南河田町の神明社(八竜亀ノ宮合祀)など北河田学区の名所・旧跡について、散策研修をしました。

2)7・8月の催事について

①蓮見の会について、個別に協力内容を依頼しました。また、漁業体験、個別ガイドについて、依頼内容を確認し担当を決めました。

②8月以降の催事については、日程を案内しました。

3)活動報告、業務連絡

○5月・6月初旬に実施した高畑水没遺跡見学会、八開中学校フィールドワーク、愛知県観光協会の表彰式などについて活動報告しました。

○新会員の委嘱状を伝達しました。

○分科会、バス研修旅行反省会は7月定例会で予定します。



あいさいさん